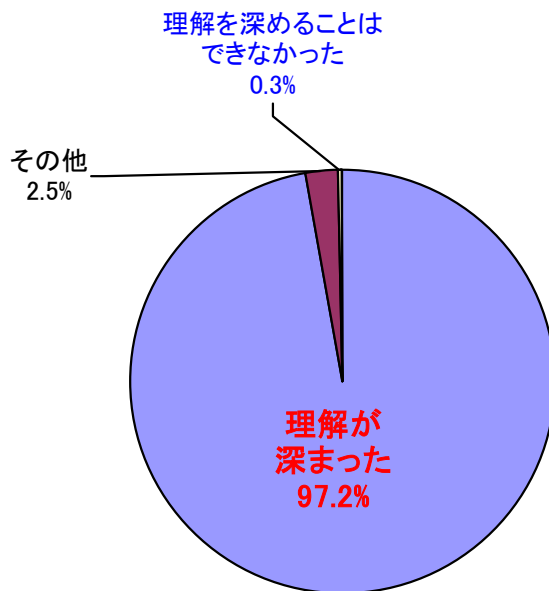


Q3 このイベントを見て障害者の雇用についてどのように思われるようになりましたか。

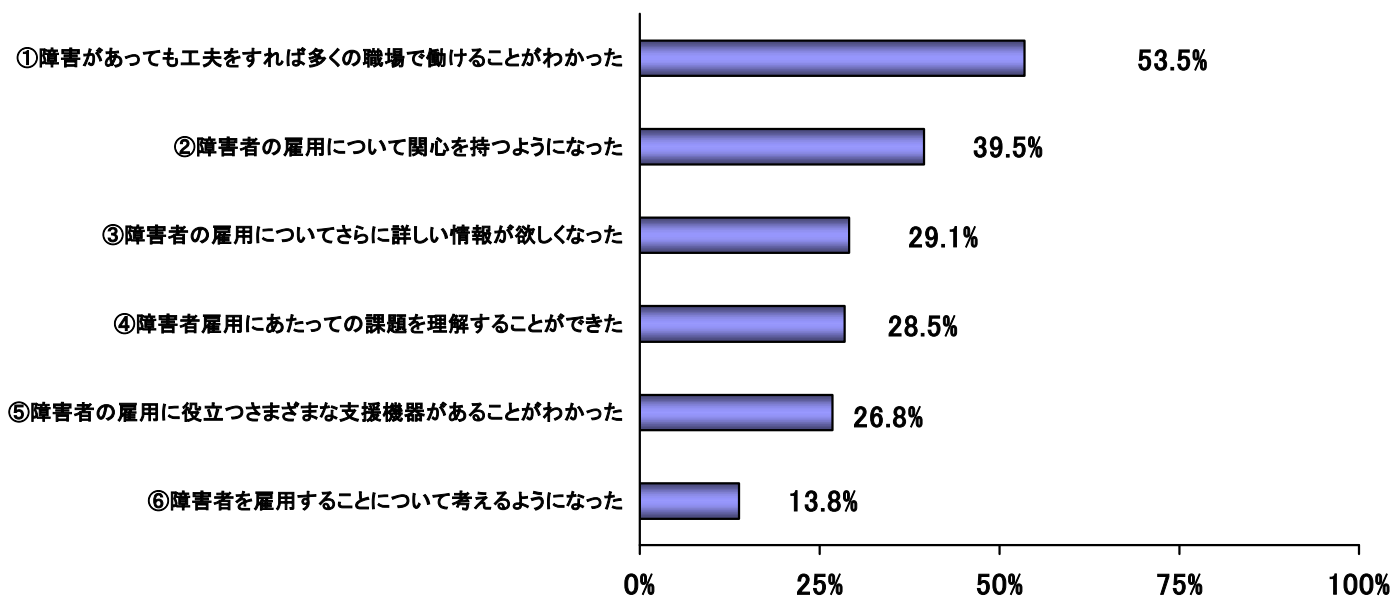
大会を見て障害者の雇用に対する理解が深まった者の割合は、中期目標の80%以上に対し97.2%で、前回大会（第32回神奈川大会）の97.1%同様に、ワークフェアが障害者雇用への理解を促進している割合は依然高いと言える。



理解が深まった人の割合：97.2%
(中期目標数値：80%以上)

<「理解が深まった」の内容の割合(複数回答)>

障害者の雇用に対する理解が深まった内容では、回答者の半数以上が「障害があっても工夫をすれば多くの職場で働けることがわかった。」と回答している。



Q2-1 ワークフェア2011を見てどう思われましたか。(自由記述)

〈肯定的評価の主な理由〉

●出展者・出演者に対する高い評価(計154件)

「障害者の働く場について、多く知ることができ、直接担当者と話せてよく理解できた。」
(他、52件)

「多くの就労支援機関について知ることができ、就労支援についてよく理解できた。」
(他、9件)

「障害のある方の頑張る姿がみられて良かった。」(他、7件)

「障害者雇用に関する、様々な取組みや配慮の状況が分かり、参考になった。」
(他、4件)

「企業の方の対応が丁寧で、説明が分かりやすかった。」(他、5件)

「全国レベルでの色々な取組みについて、知ることができた。」(他、4件)

「自分と同じ障害の方が、どのようにして仕事をしているのか、しっかり確認できた。」
(他、1件)

●ワークフェアの意義・効果(計122件)

「色々な企業の取組や仕事の場を知ることができた。」(他、18件)

「これまで全く知る事のなかった、障害者の雇用問題について考えるきっかけになった。」
(他、11件)

「行政、企業、学校等で様々な取組や障害のある人の就労の実態など、一度に見ることができ、とても良かった。」(他、6件)

「埼玉県内外の情報を得ることができた。」(他、4件)

「障害者の就労支援に役立つ情報が得られた。」(他、4件)

「将来の就職に向けて役立つ情報が得られた。」(他、3件)

「気軽に相談できるところがよかった。」(他、1件)

「特別支援学級の担任として、ハンデを抱えた生徒の就職を考えた時、どんな形での就労があるかを知る大変良い機会になった。」

「子供が最近、障害者手帳を取得した為、就労について詳しい情報を知ることができた。」

「社会全体で応援してもらっている様なあたたかい気持ちにさせてもらった。全国に多くの就職先があることを知り、大きな安心感のようなものを感じた。」

●ワークフェアの運営に対する評価(計76件)

「会場が広くいろいろな展示をするスペースがあり、様々な企業や展示物が見られたのがよかった。」(他、9件)

「見やすく会場全体の雰囲気よかった。」(他、7件)

「色々なイベントがあり、内容が充実していた。企画の中身、課題が適切である。」
(他、6件)

「スタッフの方々がキビキビと精力的に動かれているのが印象的だった。」(他、1件)

〈否定的評価の理由〉

「対象とする障害種類がブースごとにはっきりしないので、どこを見るといいか分かりにくい。」

「パーティションで囲まれたブースの通路が狭かった。」

Q5 ワークフェア2011を見ての感想・ご意見をご自由にお書きください。

〈肯定的な主な感想・意見〉

●出展者・出演者に対する感想】（計165件）

「色々な会社のブースが見られて、これからの参考になる。」（他、17件）

「障害のある方が働く姿を見せて頂いたりしたので、とても良かったです。」（他、6件）

「アート関係のブースがあって、嬉しかった」（他、2件）

「関係者の熱意が感じられた。」（他、2件）

「実際に取り組んでいる内容を具体的に知ることができて良かったです。」（他、1件）

「企業ごとに様々な雇用の方法があり、工夫の仕方しだいで、雇用の幅が広がり、もっと多くの職業で障害者雇用ができることを考えさせられました。」（他、1件）

「多くの企業と連帯感を持つことができ、充実した1日でした。」（他、1件）

「障害者雇用に関して、いろいろ参考になった。」（他、1件）

「たくさんの企業が障害者雇用をしているのに驚いた。」（他、1件）

「皆で支え合っているという姿勢がよかった。」（他、1件）

「息子（知的障害の中学生）の進路が不安だったので来場した。特定の仕事のみならず、幅広い職種選択ができることが分かり、希望が持てた。」

●ワークフェアの運営や広報に関する意見（計190件）

「様々な出展があり、とても勉強になりました。もっとたくさんの人に来てもらえるよう宣伝すべきと思った。」（他、22件）

「様々なイベントがあり、障害や障害者について知る、関心をもつ機会になって良いと思う。」（他、1件）

「企業の方にこそ、来て見て感じてもらえる周知が必要だと思う。」

●今後への希望（計102件）

「ワークフェアの回数や開催地を増やして欲しい。」（他、11件）

「障害者雇用に関心をもつ企業が増えて欲しい。」（他、5件）

「会場レイアウト、ガイドブック等が事前にHP等で手に入ると、どこを見ようか考える余裕ができていい。」

「中途障害者の訓練施設（機関）等の相談ができる場が欲しいと思いました。」

「もっと一般の人にも周知をして、是非見に来て欲しい。」（他、7件）

「就労へつなげるために何をしたらいいかなどの具体的な相談コーナーがあってもいいと思った。」（他、1件）

〈否定的な主な感想・意見〉

「ブースによっては、こちらからアクションを取らないと何も起こらない状況が気になりました。もう少し声をかけてくれたり、資料を見せてくれたりと、能動的であって欲しい」

「最終日15時過ぎに出展者が片付け始め、とても寂しかった。少なくとも16時半まではしっかり展示して欲しい。」（他、1件）

「会場までの案内をもう少し丁寧にして欲しい。駐車場からスムーズに来られなかった」

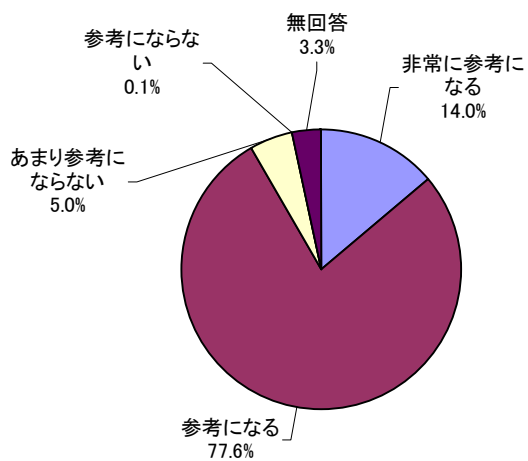
「働く広場」アンケート調査結果

【5月号実施】

設問：「働く広場」は参考になっていますか

「非常に参考になる 14.0%」 + 「参考になる 77.6%」

理解度 91.6%



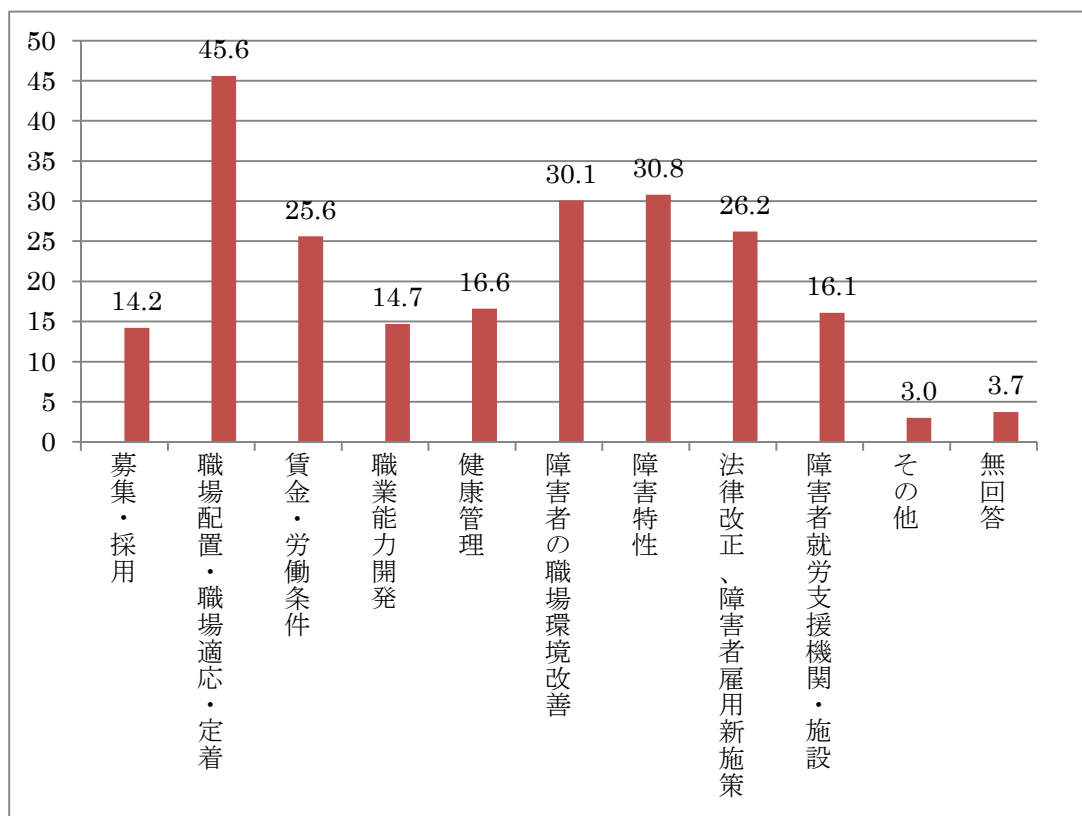
今回実施 n=737

送付部数：54000部

回答数：737件

回収率：1.3%

設問：今後はどのような内容のものが掲載されるとよいとお考えですか(複数回答)



平成23年度『働く広場』発行一覧

月号	記事項目	記事概要
2011 4 (3/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 グラビア 4 特別寄稿	「ひきこもりの中の発達障害」岐阜大学准教授、精神科医 高岡健 「安全安心・おいしいシイタケをどうぞ」農事組合法人横手マッシュセンター 「1日2万本出荷 花づくりに汗を流す」株式会社讀千ドリムフアーム (長崎県諫早市) 「EU諸国における障害者雇用をめぐる最近の動向」法政大学名誉教授 松井亮輔
2011 5 (4/20発行)	1 この人を訪ねて 2 職場ルポ 3 グラビア 4 白熱座談会	「高次脳機能障害の夫が社会復帰イラストレーター」栗本礼さん 「新生「イオン」誕生。障がい者雇用も充実へ」イオンリテール株式会社 「米国航空会社で進む障害者雇用」デルタ航空会社 (東京、成田) 「障害者雇用の変化の中で「働く広場」が果たすべきこと
2011 6 (5/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「障害のある人の自立した生活をサポートとは」産業技術総合研究所知能システム研究部門主任研究員 谷川民生 「広がる発達障害者の雇用Vol.1」誰もが輝ける会社に「トーマツチャレンジ株式会社」 「笑顔で迎える社会福祉士」南祥太さん (熊本・大津町地域包括センター) 「重度障害者に働く場を」意欲を持って挑戦する努力の大切さ「NP0法人バーチャルメデア工房ぎふ」
2011 7 (6/20発行)	1 この人を訪ねて 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「障害者とともに震災を乗り越える！」株式会社新陽ランドリー 社長 加藤聡夫さん 「広がる発達障害者の雇用Vol.2」実を結ぶ「発達障害者の支援」キハチノ昌平株式会社 「ようこそ おこしやす」日昇館尚心亭 (京都) 「企業の新しい社会貢献「はあとね」と働つぷる」——埼玉トヨベットのともに働く地域づくり 朝日雅也
2011 8 (7/20発行)	1 この人を訪ねて 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「障害者がスポーツを楽しむ！ 道具を使えば「できる！」NP0法人アダプティワールド 理事長 齊藤直さん 「東日本大震災「工場復旧まで2カ月 いまは元気に働く」株式会社クリン&クリン」 「東日本大震災「鎮魂と復興を祈って 響け和太鼓の音」瑞宝太鼓 (長崎・雲仙市)」 「沖縄・宮古島「社会福祉法人みやこ福祉会」伊志嶺理事長は走り続ける」阪本文雄
2011 9 (8/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「希望への苦闘 一阪神・淡路大震災と東日本大震災から」NP0法人よろず相談室理事長 牧秀一 「高齢者雇用の会社から特例子会社に」洋信産業株式会社 「平成23年度 障害者雇用支援月間ポスター原画入賞作品」 「30年間の障害者雇用の歴史とノウハウ」ホーナー太陽30年の集積とそれを支えるHonda「樋口京己
2011 10 (9/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「節電と障害者——いま求められるバリアフリーへの対応」慶應義塾大学経済学部教授 中野泰志 「プライドを持ち、プロとして仕事をしたい」第一生命チャレンジ株式会社 「つくる野菜はミニでも障害者雇用の夢は大きい」京丸園 (静岡・浜松市) 「北海道・道北地域の職親会を訪ねて (稚内市、なよろ地方、旭川市、留萌市)」松矢勝宏
2011 11 (10/20発行)	1 この人を訪ねて 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「特別編 国際アピリンピックを目前にして」中部電力佐藤徹さんを偲んで 「風評被害にめげず、相馬を復興したい！」東日本大震災 株式会社サンエイ海苔 「地ビールで乾杯」真備竹林麦酒醸造所 (NP0法人岡山マインド「こころ」) 「知的障害者33人がつくる学校給食 1日880食製造の秘密——C・ネットふくい丸岡南中事業所——」大森八恵子
2011 12 (11/20発行)	1 この人を訪ねて 2 特集 3 グラビア 4 編集委員が行く	「工賃目標7万円を掲げた「はらから福祉会」の30年」社会福祉法人はらから福祉会理事長 武田元さん 「国際アピリンピック 大韓民国・ソウル大会2011「世界に向けた無限の挑戦」 第8回国際アピリンピック「あのとさきみんなどうしていったのだろう！東日本大震災の恐怖のなかで、障害のある人たちは、家族の方たちは」西嶋美那子
2012 1 (12/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 特集 4 編集委員が行く	「東日本大震災「一町から次々と社会サービスが消えていった」NP0法人いわき自立生活センター理事長 長谷川秀雄 「東日本大震災「新潟沖中越地震から7年 被災地復興の秘訣を聞いた」 障害者ワークフェア2011 inさいたま 東日本大震災「ふるさとの恵み産る福島」の障害者たちへ社会福祉法人「こころんへ」金子鮎子
2012 2 (1/20発行)	1 この人を訪ねて 2 職場ルポ 3 グラビア 4 編集委員が行く	「中小企業における障害者の雇用促進策を考える」中小企業組合研究所 研究部長 原川耕治 「「牛めし」を支える一員です！」株式会社松屋フーズ 「東日本大震災「被災地の障害者に元気を届けたい」岡山・平成いもの会 特集「ソーシャルファーム」社会福祉法人恩賜財団理事長 炭谷茂 特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぼぼ
2012 3 (2/20発行)	1 私のひとこと 2 職場ルポ 3 グラビア 4 公開座談会	「精神障害者の就労に向けて」有限会社社紀州高田果園 代表 高田智史 「共生社会」を実現したい！三菱商事太陽株式会社 「精神障害者が活躍する「製造一課一係」収益率、社内No.1」アクトック株式会社 (大阪・枚方市) 「障害者週間連続セミナー「働く広場」公開座談会」紙上採録 精神障害者の雇用は、今 Vol.3」

離職者訓練 訓練区分別入所・修了状況(平成19～23年度)

(単位:人)

区分	平成23年度					
	入所者数	修了者数	就職者数 (中退就職者数を含む)		就職率 うち 常用労働者数	
			うち 常用労働者数	就職者のうち 常用労働者の割合		
施設内訓練	24,340	13,201	13,569	9,431	84.6%	69.5%
うち短期課程活用型 デュアルシステム	2,174	1,216	1,391	1,103	91.3%	79.3%

(注1) 入所者数は、平成23年4月から平成24年3月までに開始したコースの実績であること。
 (注2) 修了者数及び就職者数は、平成23年4月から平成24年1月までに終了したコースの実績であること。
 (注3) 修了者数及び就職者数は、実践的な職業訓練コースを受講する1ヶ月間の訓練を除く。

【参考1】平成19～22年度

(単位:人)

区分	平成22年度				平成21年度				平成20年度				平成19年度								
	入所者数	修了者数	就職者数 (中退就職者数を含む)		就職率	入所者数	修了者数	就職者数 (中退就職者数を含む)		就職率	入所者数	修了者数	就職者数 (中退就職者数を含む)		就職率						
			うち 常用労働者数	就職者のうち 常用労働者の割合				うち 常用労働者数	就職者のうち 常用労働者の割合				うち 常用労働者数	就職者のうち 常用労働者の割合							
施設内訓練	25,718	15,290	14,960	10,264	82.6%	29,405	17,786	15,808	10,460	78.6%	27,144	16,925	14,965	11,033	79.2%	28,949	18,977	17,368	9,456	81.9%	
うち短期課程活用型 デュアルシステム	2,452	1,613	1,693	1,306	87.6%	3,088	2,028	1,945	1,497	83.6%	2,511	1,315	1,210	1,032	82.1%	1,560	502	542	472	89.7%	76.2%

(注1) 各年度とも、入所者数は、当年4月から翌年3月までに開始したコースの実績であること。
 (注2) 各年度とも、修了者数及び就職者数は、当年4月から翌年1月までに終了したコースの実績であること。
 (注3) 修了者数及び就職者数は、実践的な職業訓練コースを受講する1ヶ月間の訓練を除く。

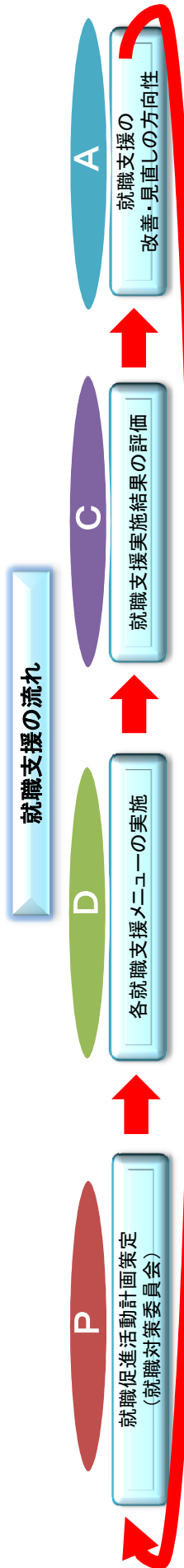
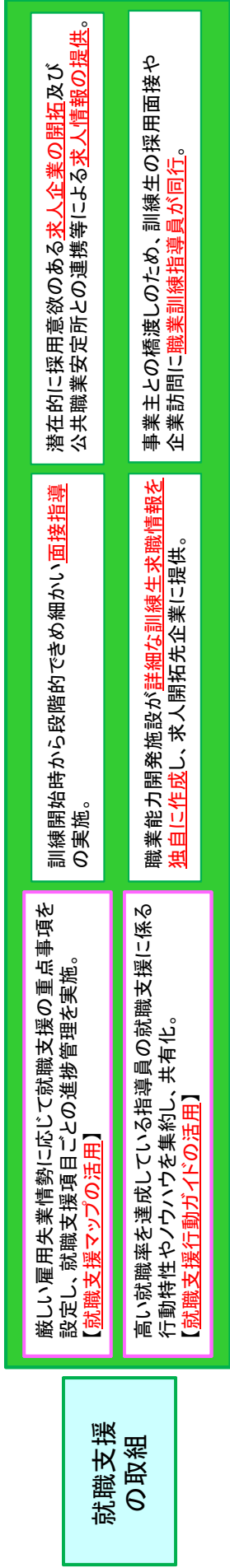
【参考2】労働力調査

(単位:%万人)

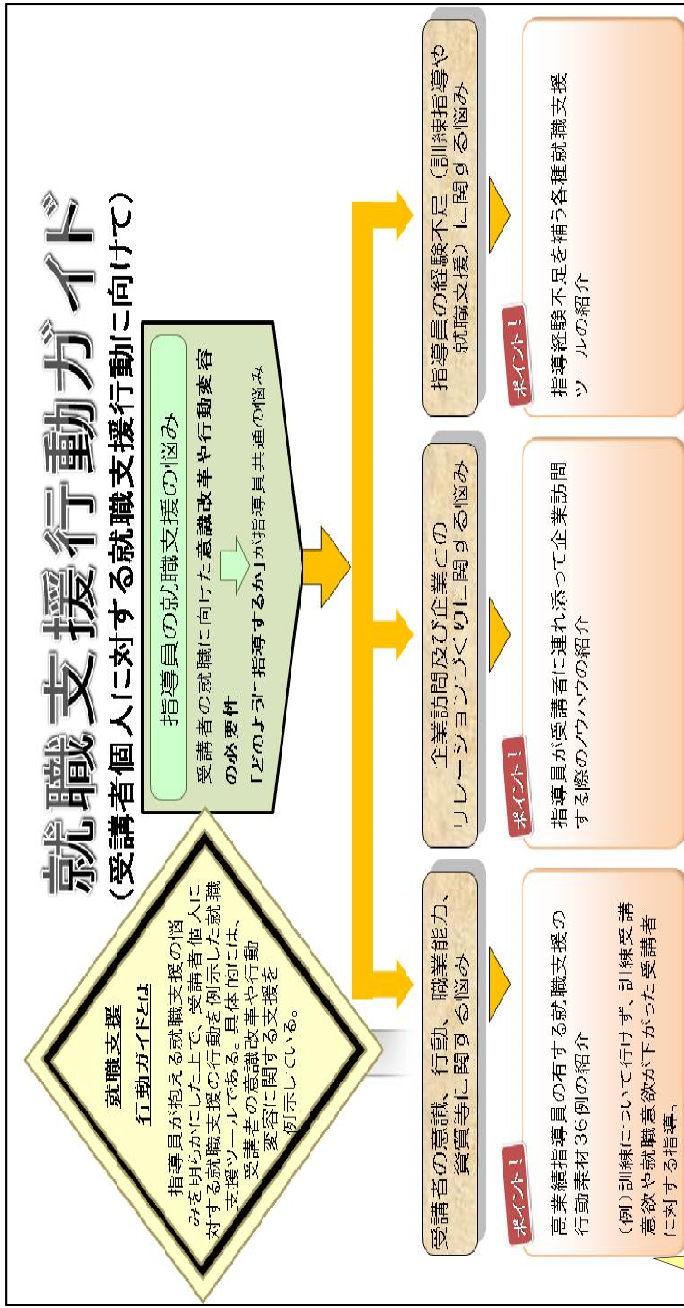
完全失業率	平成23年度 平均				平成22年度 平均				平成21年度 平均				平成20年度 平均				平成19年度 平均									
	男性	女性	完全失業率		男性	女性	完全失業率		男性	女性	完全失業率		男性	女性	完全失業率		男性	女性								
			男性	女性			男性	女性			男性	女性			男性	女性										
4.5	4.9	4.1	3.07 (▲15)	190 (▲3)	117 (▲5)	5.0	5.3	4.5	3.12 (▲31)	193 (▲17)	119 (▲14)	2.10 (-91)	2.10	4.8	3.43 (-78)	2.10	4.1	3.8	265 (-6)	159 (-6)	106 (-3)	3.7	3.9	257 (▲16)	154 (▲4)	103 (▲4)

資料出所 総務省統計局「労働力調査」
 (注) ()内は前年同月差。

就職支援マップの概要



就職支援行動ガイドの概要



「指導員が抱える就職支援の悩み」の具体的な事例に対して、指導員がどのように受講者に接し、指導するかの参考例を収集し、「就職支援行動シート」等にまとめていること。

具体的には、受講者の就職に向け、指導員はどのような指導によって、受講者を意識変革や行動変容させるのか、対応事例や参考資料を本ガイドで紹介。



就職支援行動シート(36の行動シート)
第1部 就職支援行動ガイド

「**就職支援行動シート**」の構成は、受講者の一連の変化を例示し、「受講者の行動がどのようなときに**【先行条件】**、指導員がこのような支援や行動をしたら**【行動】**、その後受講者の行動や環境が変化し、このようになった**【結果】**という関係」が理解できるように区分していること。

指導員の指導(支援や行動)後に受講者の様子・反応がどう変化したか?【結果】について、指導方法を分析するとともに自主的かつ継続的な就職支援の結果を振り返ることにより、指導員の就職支援のレベルアップを図っています。

就職支援事例学習等



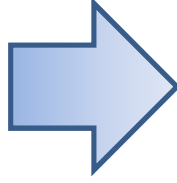
就職支援行動シート		
悩み区分	流れの中ですぐ	【支援形態】 ■訓練指導 ■就職支援 □その他 【区分】 ■意識改革 ■行動変容 □その他
悩みに応じた指導の類型	何らかの“つまずき”により、訓練受講意欲や就職意欲が下がった受講者に対する指導	【訓練指導面】 ①実習時には指導員の説明を最後までしっかりと聞かないため早合点が多く、時々失敗が見られる。 ②悪気は感じ取れないが、自己中心的で指示事項を聞かずに自己流で実習に取り組み状況が見られる。 ③就職試験で失敗を繰り返すため訓練受講意欲の低下が見られる。 【就職支援面】 ①三者面談において、自分ばかり話そうとして説明を最後まで聞けない様子が見られる。 ②緊張感からくるあがり症のため、模擬面接において面接者の質問をしつかりと聞けずどもどろに回答する状況が見られる。 ③VTRを活用して自信が持てるまで繰り返しロールプレイングによる面接練習を行った。 ④模擬面接で気づいたことなどを中心にキャリア・コンサルティングを行った。 ⑤緊張感を取る練習として毎朝3分間スピーチを実施し、あがり症の緩和対策を行った。 ⑥伝えたいことの要点を整理して的確にまとめる対策として、職務経歴書の作成支援を通じて自己理解と仕事理解の整理を行った。
悩みを生む受講者の行動や要因	幾度も採用試験に失敗	①自己理解を深めたことにより、落ち着いて相手の話を聞くようになる。 ②仕事理解を深めたことにより、自信を持って就職活動ができるようになる。 ③失敗の原因を認識したことにより、訓練に集中できるようになる。 ④就職試験に失敗しても、前向きに原因と課題を整理するようになる。
目標達成に向けた支援行動		

就職支援ノウハウの提供について

機構主催会議

(194件)

地方運営協議会
各公共職業能力開発施設
設部会
訓練計画専門部会



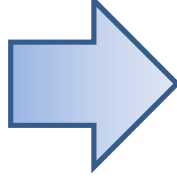
(提供事例)

・地方運営協議会、地方運営協議会大
学校部会または職業能力開発促進セン
ター部会、地方運営協議会訓練計画専
門部会などの機構の会議の場を利用し
て、就職支援マップや就職支援行動ガ
イド等の就職支援ツールを利用した就
職支援の取り組みの紹介を行った。

その他会議

(115件)

都道府県公共職業能力
開発施設との連絡会議
求職者支援訓練制度説
明会



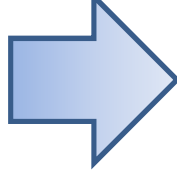
(提供事例)

・府の依頼を受け、府内の各高等職業
技術専門学校等の全指導員を対象とした
研修において、離職者訓練での就職支
援の取り組みをテーマに、就職支援マッ
プ等の就職支援ツールを用いて、就職
支援の効果的な指導方法を講義した
(6施設120名受講)。

個別訪問・郵送等

(123件)

民間教育訓練機関
都道府県公共職業能力
開発施設



(提供事例)

・求職者支援訓練または委託訓練の実
施を希望する民間教育訓練機関の要
請に応じて訪問を行い、就職支援マッ
プ等の就職支援ツール等を用いて就職
支援のノウハウの提供を行った。

高度技能者養成訓練の訓練カリキュラム（総訓練時間に占める実習時間の割合）

養成する人材像

応用課程（2年）：生産技術・生産管理部門のリーダーとなる人材の養成（生産現場のリーダー）
 専門課程（2年）：技術革新に対応できる高度な知識・技能を兼ね備えた実践技能者（テクニシャン・エンジニア）

カリキュラム設定

総訓練時間数の8割は標準カリキュラムで設定している。
 残りの2割については、地域の実情等に応じて、各大学校において設定する。

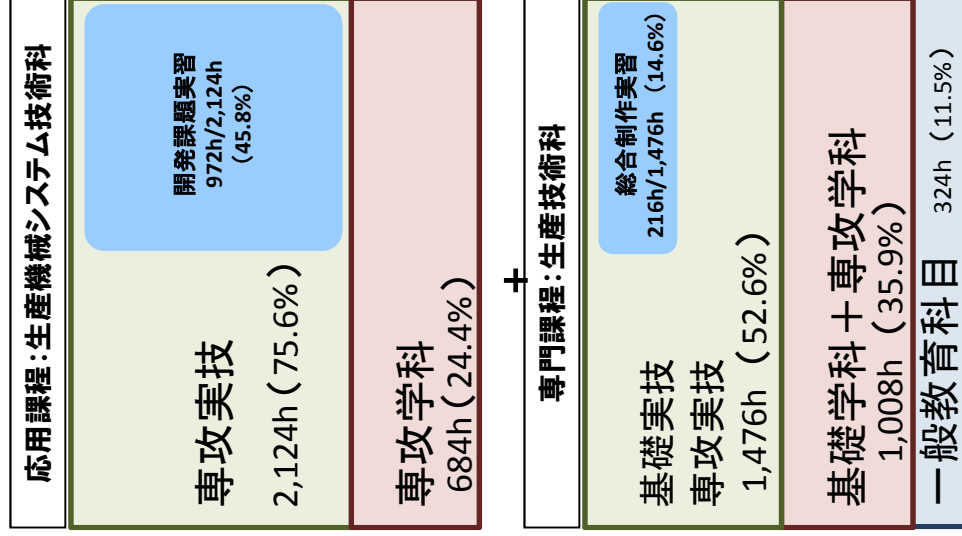
機械システム系の例*

<特長>

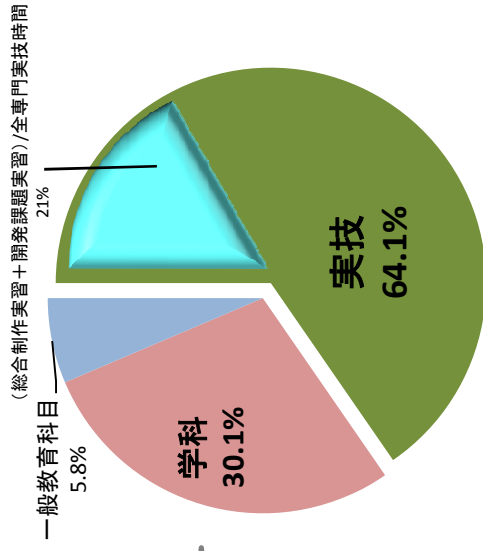
- ワーキンググループ方式による生産現場に密着した製品の企画開発から製作までのものづくり能力を習得するため、**課題実習、企業実習**などを設定
- 総合的なものづくりに必要となる知識等を習得するために、**生産管理、品質管理、工業法規、開発技法**等を設定

- 生産現場において必要となる設計・製作能力**等を中心に習得するために、**加工実習、総合制作実習、制御実習**などを設定
- 設計から製作・施工に至る一連の**技能・技術に直結した理論や知識**を習得するために、**力学、製図、コンピュータ基礎、制御**等の基礎的学科を設定

- 実践技能者としての必須科目**である「**数学**」、「**物理学**」、「**工業英語**」等を設定



4年間の教科割合



合計 5,616H

134

※ H23年度関東職業能力開発大学校カリキュラム参考

平成23年度「ものづくり体験教室」実施状況

	実施回数	参加者数
能開大等	190回 (152回)	17,195人 (18,533人)
ポリテクセンター	95回 (81回)	16,091人 (11,795人)
計	285回 (233回)	33,286人 (30,328人)

()内は平成22年度の実施状況

平成23年度ものづくり体験教室の開催例

1 機械加工

【NC旋盤を使用したアルミニウム製こまの製作】

実施施設 千葉ポリ、福井ポリ、南伊勢ポリ、米子ポリ、宮崎ポリ

体験内容 太いアルミ棒からNC旋盤（プログラムで自動加工する旋盤）を使って、「こま」を削り出す。金属の塊から製品を作り上げるプロセスと、コンピュータへ入力したプログラムで加工機械を動かす仕組みを学習する。



【穴あけボール盤を使用したさいころの製作】

実施施設 和歌山ポリ

体験内容 やすりや穴あけボール盤を使って、金属（真鍮）のピカピカ輝くサイコロを製作する。



【レーザー加工によるネームプレートの製作】

実施施設 徳島ポリ、秋田短大

体験内容 CAD/CAMでネームプレートの文字入力・プログラム作成を行い、プログラムデータをレーザー加工機に転送し、プレートを加工する。



2 金属加工

【銅板レリーフの製作】

実施施設 千葉ポリ、滋賀ポリ、加古川ポリ、

体験内容 板金技術を学ぶ。薄い銅板に自分で書いた絵や文字を転写して、下絵に沿って釘を打ち、裏から打ち出して絵や文字を浮かび上がらせる。



【鋳造キーホルダーの製作】

実施施設 群馬ポリ、佐賀ポリ、熊本ポリ、秋田短大、関東能開大、北陸能開大、石川短大、千葉短大（成田校）

体験内容 実際に船などの機械部品にも使われている錫（すず）と亜鉛、銅などの合金を熱して液体にした後、型に流し込み、冷やし固めて加工する「鋳造（ちゅうぞう）」という方法を学習する。コルク板で好きな形の型を作り、オリジナルのキーホルダーを製作する。

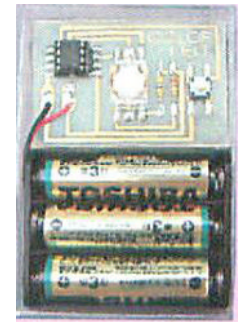


3 電子技術（電子制御・電子情報）

【マイコン制御による電子サイコロの製作】

実施施設 南伊勢ポリ、東海能開大、高知短大

体験内容 ハンダ付けをしながら電子回路を組み立て、内部に発光ダイオード（LED）を組み込んだ電子サイコロを製作する。光の点滅をコントロールして、ランダムに1から6までを表示するマイコンボードの仕組みを学習する。



【ライントレースロボットの製作】

実施施設 千葉短大、東海能開大、中国能開大

体験内容 内蔵された光センサがラインを読み取り、ライン上を自動的に動くロボットの仕組みを学習し、ハンダ付けをしながら組み立てる。



【ソーラーカー、ソーラーロボの製作】

実施施設 旭川ポリ、秋田ポリ、いわきポリ、福井ポリ、米子ポリ、長崎ポリ、熊本ポリ、北海道能開大、近畿能開大、滋賀短大

体験内容 太陽電池で動くソーラーカーを作って太陽光発電を体験し、その仕組みを学習する。



4 木材加工

【いすの製作】

実施施設 佐賀ポリ、熊本ポリ、南伊勢ポリ

体験内容 木材を釘打ちやボンドで組み立て、いすを製作する。建築大工の道具と技術を学習する。



【青森ひばの縁台の製作】

実施施設 青森ポリ、

体験内容 さわやかな香りで森林浴気分も味わえる青森ひばの縁台を作る。



職業能力開発大学校における地域社会との連携について

○ 産業界との連携

【事例 1】

滋賀県内の電気自動車研究プロジェクトに協力し、環境と高齢者にやさしいコンセプトに基づく電気自動車の試作に協力した。(滋賀職業能力開発短期大学校)

(概要)

社団法人滋賀経済産業協会が滋賀のものづくりを発信するため立ち上げた電気自動車研究プロジェクト(地元企業30社が参加)に対し、滋賀短大が「環境や高齢者にやさしい自動車」という試作車のコンセプトに基づき、県内企業約30社から資金や部材の提供を受けて、電気自動車の試作に協力した。試作車は、太陽光発電システムを搭載し、フル充電で60キロ走行でき、屋根に太陽光発電パネルを乗せ、ライトにはLED(発光ダイオード)を使用して、完成させた。

【事例 2】

富山県内の機械系分野の事業主団体に対して、三次元CAD技術等に関する講習会を実施した。(北陸職業能力開発大学校)

(概要)

社団法人富山県機電工業会に対し、①三次元CAD技術、②PLC制御技術等の講習会(1回12時間)を2回開催し、計28名が受講した。

(講習内容)

①三次元CAD技術

現在、設計現場で広く活用されている「3次元CADシステム」の取り巻く環境や機械設計の効率化を目指した設計プロセスとモデリング手法に関する知識・技能を習得する。

②PLC制御技術

PLC(プログラマブル・ロジック・コントローラ)の概要と基本操作を理解し、スロットマシン制作を題材として、制御技術を習得する。

(参考)

PLCとは、プログラムで定められた順序や条件に従って、設備や機械の動きを制御する装置で、生産ラインの自動制御や身近な機械(エレベーター、自動ドア等)の制御に幅広く用いられている。